

年月日

19
08
06

ページ

24

NO.

不撓不屈

ふとうふくつ

「雇いたい」へ

①

D&I

誰もが挑戦できる社会創る

誰もが挑戦できる社会を創る。これは障がい者の雇用支援や教育事業を手がけるD&Iが掲げる自社のミッションだ。

創業メンバーの1人で社長の杉本大祐は「障がい者雇用を義務ではなく、雇わなければいけないから雇いたいに変え、文化として根付かせていきた

同社によると、国内で障がい者手帳を持つ人口は約950万人。うち18歳未満の労働人口が約450万人で、なんと一般

誰もが挑戦できる社会を創る。これは障がい者の雇用支援や教育事業を手がけるD&Iが掲げる自社のミッションだ。

創業メンバーの1人で社長の杉本大祐は「障がい者雇用を義務ではなく、雇わなければいけないから雇いたいに変え、文化として根付かせていきた

用サービス「エンカク」に力を入れている。情報通信技術（ICT）を駆使し、パソコン1台から最短1カ月でテレワークを導入。専任カウンセラーや就労者が就労者の出退勤や体制の管理を含めてサポートする。2018年7月に事業化し、約60社が同サービスを導入、約200人の障がい者が就労している。

障がい者雇用に関する課題はまだある。特に精

神障がい者は入社3カ月で30%、半数以上が1年で離職するという。このような人たちは「通勤の

全体の5%

困りがある。企業も国が定める法定雇用率2・2%の達成に加え、獲得した貴重な人材が離職しないための対応が求められ

いる。

こうした障がい者雇用の問題に対

多く、同社に登録する人

数も毎月増えている。き

その人（障がい

ンカクの定着率は90%を

超える。近く同社や企

業、関係機関をつないで

L=d-and-i.jp/

障がい者のテレワーク

就労している人数は約50万人で、障がい者全体の約5%にすぎない。障がい者というカテゴリーに当

てはめるだけで、働く意欲のある障がい者を十分に活用できていない日本

の現状が浮かび上がる。

障がい者雇用に関する課題はまだある。特に精

神障がい者は入社3カ月

で30%、半数以上が1年

で離職するという。この

ような人たちは「通勤の

全体の5%

困りがある。企業も国が定める法定雇用率2・2%の達成に加え、獲得した貴重な人材が離職しないための対応が求められ

いる。

こうした障がい者雇用の問題に対

多く、同社に登録する人

数も毎月増えている。き

その人（障がい

ンカクの定着率は90%を

超える。近く同社や企

業、関係機関をつないで

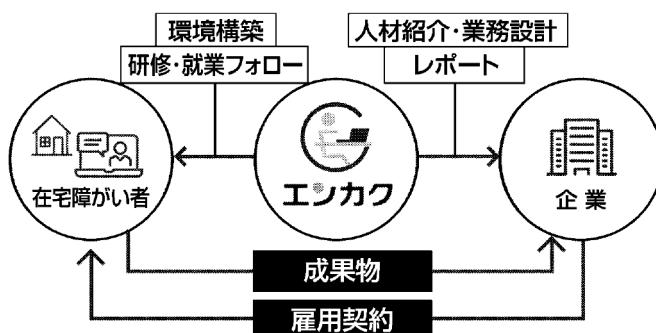
L=d-and-i.jp/

テレワーク型雇用サービス「エンカク」の仕組み

くががカギ」と強調する。そこでエンカクに登録した障がい者の意向を聞きながら業務内容の設計を行う。これにより発注者とのコミュニケーションを増やし、自分で決めてくるだけ、働く意欲のある障がい者を十分に活用できていない日本の現状が浮かび上がる。

テレワーク型雇用サービス「エンカク」の仕組み

くががカギ」と強調する。そこでエンカクに登録した障がい者の意向を聞きながら業務内容の設計を行う。これにより発注者とのコミュニケーションを増やし、自分で決めてくるだけ、働く意欲のある障がい者を十分に活用できていない日本の現状が浮かび上がる。



定着率90%超

（敬称略）

テレワークの希望者は多く、同社に登録する人

数も毎月増えている。き

その人（障がい

ンカクの定着率は90%を

超える。近く同社や企

業、関係機関をつないで

L=d-and-i.jp/